九州大学法科大学院同窓会の設立について

本会は，平成２１年３月に，いわゆる「旧カリキュラム」の世代が卒業したのを機会に，同年４月１５日，第一期生を中心に卒業生有志が九州大学法科大学院附属リーガルクリニックセンターに集まり，同年５月２６日付で設立することにいたしました。

九州大学法科大学院は，九州の他大学を圧倒する数の新司法試験合格者を輩出しており，１０年後２０年後には３０年後には各地に散らばり，九州法曹界では大きな割合を占めると考えます。ところが，現在のところ，３期の卒業生は１期卒業生の消息についてほとんど知らないなど各期の卒業生間の繋がりは一部を除いて不十分であり，組織化されていません。これは多くの合格者数を輩出しながら残念なことです。

九州大学法科大学院は，毎年７０名程度の卒業生を輩出することが予想され，１０年後には卒業生が１０００名を超える計算になります。１０００人を超えるときには，卒業生全体を把握することはますます困難となり，卒業生のネットワークを強固なものにするためにも早い時期の同窓会の立ち上げが望まれます。

先頃，年間合格者を２０１０年に３０００人に増やす政府方針について日本弁護士連合会は，今後数年間は現状の合格者数（約２１００～２２００ 人）を目安にすべきだとの提言を発表し，自民党内でも「法曹養成・法曹教育及び資格試験のあり方に関する小委員会」などで見直しを求める動きが活発化するなど，法科大学院をとりまく状況は厳しいものがあります。厳しい状況の中でも，多くの合格者を輩出するためには大学院関係者の努力のみならず，同窓生の物的人的な支援・協力が必要です。

また，これからの合格率を考慮すると，法科大学院に入りながら法曹とは別の世界に進むことも想定せざるをえないでしょう。法曹とは別の世界に進む卒業生にとっても，九州大学法科大学院卒業生と交流を持つ機会を得ることは，今後どのような世界に踏み出すにせよ，非常に大きな力になることでしょう。法曹界に進んだ卒業生にとっても，法曹以外に進んだ卒業生との繋がりは大きな力になると考えます。

そこで，法曹界とは別の世界に進んだ卒業生，さらに大学の関係者をも対象にした，同窓会を作ることにしました。

設立にあたっては，西山芳喜法科大学院長をはじめ，多くの諸先生方のご助力ご賛同をいただきました。ここに感謝の意を表します。

同窓会発起人
山西　信裕
高平　奇恵

佐田　洋平
小川　　剛
橘　　友一
藤村　元気
疋田陽太郎
牧　　智浩
藤岡　孝司
山口明日香
島　　一晃
古賀　貴士